

日本野生動物医学会
若手研究者国際学会発表支援事業募集要項

1. 事業の目的

本事業は、日本野生動物医学会野生動物保護基金および研究支援費を基に、国際学会において野生動物医学研究の発表を希望する若手研究者（学生、研究生を含む）に対して、渡航費の経済的支援を行うことを目的とする。

2. 支援内容

1件あたりの上限は5万円で年間15万円を限度額として、国際学会開催地域を勘案し別に定める支援事業検討委員会で支援額を決定する。航空運賃、宿泊費および開催国内の移動にかかる経費を対象とする。予算限度額を超過することが判明した場合は、支給額を減ずるか、または支援数を制限することがある。

3. 審査

若手研究者国際学会発表支援事業検討委員会が審査を行う。委員会は経理担当理事を委員長とし、会長、副会長、庶務担当理事および幹事、経理担当幹事、学術教育担当理事及び幹事により構成される。

4. 応募資格

日本野生動物医学会の正会員ないし学生会員であり、海外で開催される国際学会において自ら研究発表等を行う者のうち、当該学会初日において35歳以下の者とする。なお、関係学会や他の財団等から援助を受けていないもの、或いは援助が不十分なものに限る。

5. 申請

申請の受付は6月、9月、12月および3月に行う。原則として学会開催2ヶ月以上前に申請する。開催までに審査に十分な時間が取れないものは対象としない。申請には下記の書類を必要とする。

①若手研究者国際学会発表支援申請書（指定様式・写真貼付）

URL

②推薦書（様式自由。所属研究室・所属機関責任者、または担任が記載。語学能力の評価を含めること）

任意 ③英語能力評価試験（TOEIC、TOEFLなど）の結果通知書（応募者多数の場合の審査の参考にすることがある）

6. 書類提出先

日本野生動物医学会事務局

〒060-0818 札幌市北区北18条西9丁目 北海道大学大学院獣医学研究院 繁殖学教室内

7. 選考及び結果の通知

提出書類をもとに、支援事業検討委員会にて審査・選考し、結果を本人に通知する。

8. 報告書の提出等

学会終了後、1ヶ月以内に若手研究者国際学会発表支援事業報告書（指定様式）を提出すること。また本学会刊行のニュースレターへの支援事業に関する報告を義務付ける。学会終了後1年以内に投稿がない場合は支援金の返金を求める。

9. 支払い

支援金は支援事業検討委員会に提出され承認を得た下記書類に基づき支給する。領収書の無い支出についてはこれを経費として認めない。

- ①若手研究者国際学会発表支援申請書
- ②若手研究者国際学会発表支援事業報告書
- ③必要経費の領収書

海外での現金払いの場合は、両替した際の為替計算書を添付のこと。クレジットカード払いの場合は、その記載があるカード会社の明細書（コピーまたはweb版等でもよいが、換金レートに記載があるもの。）

問い合わせ先：日本野生動物医学会事務局

〒060-0818 札幌市北区北18条西9丁目

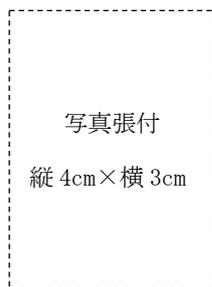
北海道大学大学院獣医学研究院 繁殖学教室内

Tel:011-706-5234 Fax:011-706-5234

E-mail wildmed@vetmed.hokudai.ac.jp

若手研究者国際学会発表支援申請書

若手研究者国際学会発表支援事業検討委員会 御中



申請者 所属・肩書：
 連絡先：
 E-mail： @
 氏 名：
 生年月日：
 会員番号：

国際学会名等 (会議名、交流会名等)	
開催地・会場	
開催期間 (参加期間)	年 月 日 ~ 年 月 日 (年 月 日 ~ 年 月 日)
支援申請額	円
申請理由 (国際学会等に出席を希望する理由、支援金が必要である理由についても言及すること)	
英語能力評価 成績証明となるもののコピーを添付のこと	評価機関または試験名 得点数
下記項目に相違・異議なきことを宣誓いたします ・他の団体からの支援を受けていない、または支援が不十分である (所属機関が支払う旅費については勘案しない) ・申請内容に虚偽事項があった場合は支援金を返金する 自署 _____	

若手研究者国際学会発表支援報告書

若手研究者国際学会発表支援事業検討委員会 御中

申請者

所属：

連絡先：

E-mail： _____ @

氏 名

(自著) _____

実施報告	
収支決算 (領収書の原本またはコピーを添付すること)	
振込先銀行口座	_____ 銀行、_____ 支店、普通・当座 (どちらかに○) 口座番号No. _____ 口座名義名 (ふりがな) _____ (_____)